



ペルー

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日：2013年8月
- 調査場所：リマ市ヘスマリア区的一般家庭
- 調査対象：セサル(仮名)さん一家
- 換算レート 1米ドル≒2.8ソル(ヌエボ・ソル 2013年8月末)



セサルさん一家



家族構成

夫：セサル(仮名)さん(48歳)
妻：(28歳)
長男：(9歳)
次男：(5歳)

世帯収入

月額4,500ソル

職業

食料雑貨店経営

休日

休業日は2~3ヶ月に1回

出身地

ワンカベリカ州アバンカイ市

セサルさん (48歳)
職業 食料雑貨店経営
月収 4,500ソル

よく使う交通手段は？
タクシー、乗合バス、
乗合ワゴン

買い物スポットは？
電化製品は中古市場(マルビ
ナス)、衣類はガマラ地区で購
入



趣味は？
子供とミニサッカー

休暇の過ごし方は？
家族で公園やビーチに行く

今欲しいものは？
青果市場が遠い場所に移
転し、仕入れのタクシー代
がかさむので中古車が欲
しい

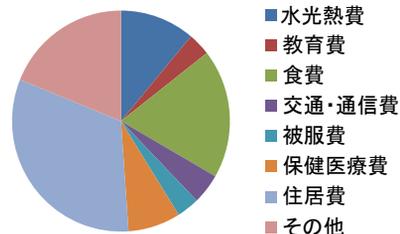
職業紹介

首都圏でも伝統的中間層の住宅街が広がる地区の貸店舗で食料雑貨店を経営。店舗の一角で生活している。

幼少時に親元を離れ首都圏の叔母に預けられる。子供の頃から靴磨き、車の窓拭きなどで生計を支えた。市場の店員を長年勤めて商売を覚え、2005年に個人商店として独立起業した。店はほぼ年中無休で休業日は2~3ヶ月に1回、朝8時開店、深夜1時頃まで営業。

持病の糖尿病が悩みだが、10年連れ添う後妻と子供2人は健康体なのが自慢。

支出内訳



妻 (28歳)
職業 主婦、食料雑貨店で接客
月収 夫と共働き

よく使う交通手段は？
乗合バス、乗合ワゴン

今欲しいものは？
息子の将来を考えてイ
ンターネット回線を引き
コンピュータの操作を
学ばせたい



趣味は？
趣味って何？

休暇の過ごし方は？
屋ぐらゐまで寝て過ごす
公園に散歩に行くことも

買い物スポットは？
生鮮食品は店舗用仕入れ
を兼ねて青果卸売市場で調
達。保存食は店舗仕入れ品
として卸業者から



住居 店舗の一角に居住スペースを確保



店舗・住宅兼用の賃貸物件で生活。扉付きの部屋は9㎡の寝室とトイレ・シャワー室のみ。寝室には家族4人が2段ベッド2床で寝る。

家具はサイドテーブルとテレビのみで、身動きできるスペースはわずか2㎡ほど。このほか、店舗奥にスチール製の商品棚で仕切られた台所、物干し、食堂などのスペースが確保されている。店番をしている時も、奥の食堂スペースをプライベート空間としてよく利用する。店内にも中古テレビがあり、長男は店番の手伝いもしているので、暇な時間はテレビを見て過ごすか、店舗前の歩道で幼い弟の面倒をみながら、近所の子供らと遊ぶことも多い。

所有の有無	店舗と住宅共用で賃借している	テレビ	中古(サムスン)2台所有
間取り	食堂(3㎡)、寝室(9㎡)	冷蔵庫	店舗業務用(国産3,000ソル)のみ
広さ	70㎡(店舗込み)	固定電話	なし
築年数	4年	携帯電話	1台中古保有
電力	月額約250ソル、店舗用冷蔵庫がフル稼働する夏季は350ソル。	エアコン	なし(寒暖差の小さいリマでは一般的でない)
水道	支線引込み、メーター設置、月額80ソル、飲用不可。要煮沸。	洗濯機	中古(LG)600ソルで購入
トイレ	水洗トイレ。便器のふたはない。	コンロ	ガスコンロ
シャワー	水シャワーのみ。冬は週3回程度、夏は毎日浴びる。	ミキサー	国産、ジュースやソース作りに必需
		ラジカセ	Mirai(台湾製)中古
		車両	なし

600ソルで購入した中古の洗濯機(LG製)。洗濯物は室内で干している。質素な暮らしのなかで異彩を放つ大型家電。

トイレの扉の正面に食器洗いと洗面を行う流し場がある。洗顔道具と食器が並ぶ。洗濯機購入以前はここで洗濯も行ってた。台所の必需品である電動ミキサーのガラスボトルが見える。

水洗トイレ。左側手前にシャワーがある。給湯器はない。子供も含め家族全員水シャワーに慣れているとのこと。

商品棚に囲まれたスペースが食堂。商品の隙間から店内が見えるため、店番をしながらも親子がつるぎるプライベート空間である。用のある客は奥に声をかけてくれる。

ボテガと呼ばれる食料・雑貨を扱う個人商店を経営。野菜・果実・鶏肉などの生鮮食料品から保存食・調味料、飲料、菓子類、生活雑貨までなんでも揃う。

9㎡ほどのスペースに2段ベッド2床を設置した家族4人の寝室。サイドテーブルに中古テレビ(写真手前右)あり。画面外右側のベッド2段目にはダンボール箱が積み上げられている。

JETRO



セサルさん一家は、店舗の商品棚の隙間に確保した3㎡ほどのスペースで食事をする。店舗はほぼ年中無休・昼夜連続営業のため家族が一緒にゆっくり食事をするのはまれである。

朝食には、グラノーラ(ペルーではクワケル=クエーカーオーツのブランド名が商品名に転化)など朝食シリアルに牛乳をかけたものやバナナのミルクシェイクなどをとる。

この日の昼食はオユコというアンデス原産の根菜と鶏肉を煮込んだオユキートという料理。カレーライスのように平皿にご飯と盛って頂く。このほか、鶏肉のコリアンダーペーストの炊き込みご飯「アロス・コン・ポヨ」、トマトとピーマン、ホウレンソウ入りのスパゲッティなどが好物。セサルさんが糖尿病を患っていることもあり、牛肉や豚肉料理は一切作らない。なお、調理はリマ市内の別所帯を持つご主人の従姉妹が店番と兼務で担当している。

夕方にロンチェといって、パンケーキと牛乳などの軽食をとる。夕食はとらない。

調理は主にガスコンロを使用。ガスはボンベで、電話で配達を注文すると新品と交換してくれる。月2回交換する。ご飯は鍋で炊く。電動ミキサーはフルーツジュースやソース作りに欠かせない。食料雑貨店を営んでいるため食品の買い置きが習慣がなく、調理した食事を貯蔵する必要性もないため、生活家電として電子レンジや冷蔵庫を必要と感じたことはない。

2~3ヶ月に1度の休業日には、リマ市内の公園や海浜に家族で出かけ、屋台や食堂で外食する。家族4人で1回の外食にかかる出費は約50ソル程度。家でテレビを見て、ゆっくり過ごすこともある。



中: 朝食シリアル。ペルーではクワケル(有名メーカーのクエーカーオーツのスペイン語訛り)と呼ばれる。150g入り2.2ソル、4人家族の朝食1回分に相当する。右: 各種調味料。開封されたビニールパックは基本調味料のクミン。炒飯作りに欠かせない醤油の小瓶(国産)も見える。



左上: 二交代制公立校の午後授業を選択する長男が通学前に昼食をとっている。食堂は家族憩いのスペース、右上: 国産のガスコンロ。鶏がらだしの具沢山スープを調理中。左下: 食器類。食事の支度は店番アルバイトの従姉妹が担当。右下: 台所は洗濯物干しを兼ねている。



青果卸売市場

人口900万人を擁するリマ市内には野菜専門と果実専門の2つの青果卸売市場があり、月に1度タクシーで買い付けに行く。最近、青果市場が市郊外に移転。木箱単位の商品を運搬するため、タクシー代も割増料金が適用され、往復で60ソルかかる。仕入れコストに響くのが悩みという。



個人商店(ボデガ)

国内で16万店が営業しているといわれる。半径150m以内の顧客を対象とする地域密着型の商形態。上: 写真右手前のエンジ色の建物1階が取材対象の店舗。右: 食品、日用雑貨など豊富な品揃え。パセリ1つかみ、タバコ1本、ティーパック1包など小口購入が可能。





時間

平日

	セサルさん	妻	子
4:00	起床(仕入れ日)		
5:00			
6:00	起床(通常営業日)	起床	
7:00	朝食	朝食	起床
8:00	開店	開店	朝食
9:00			店番をする(宿題が優先)
10:00			家の周りで子守がてら遊ぶ
11:00		シャワー(冬週3回、夏毎日)	
12:00			
13:00	昼食	昼食	昼食
14:00			通学(公立校の二交代制で午後を選択)
15:00			
16:00	シャワー(冬週3回、夏毎日)		
17:00			
18:00	おやつ	おやつ	下校、おやつ
19:00			
20:00	(夜の店番は妻と当番制)	(夜の店番は夫と当番制)	シャワー(冬週3回、夏毎日)
21:00			
22:00			就寝
23:00	終業	就寝	
24:00	就寝		

休業日(2~3ヶ月に1回)

11:00	起床	起床	起床
12:00			
13:00	家族で公園・ビーチ散策	家族で公園・ビーチ散策	家族で公園・ビーチ散策
14:00	軽食堂で家族と外食	軽食堂で家族と外食	軽食堂で家族と外食
15:00			
16:00			
17:00	帰宅	帰宅	帰宅
18:00			
19:00	家族でテレビを見る	家族でテレビを見る	家族でテレビを見る
20:00			
21:00	家族でテレビを見る	家族でテレビを見る	家族でテレビを見る
22:00	就寝	就寝	就寝
23:00			

セサルさんが暮らすヘスマリア区は、日本大使館を含む在外公館が点在するほか、日秘文化会館など日系ペルー人社会に縁ある施設も多く、伝統的な中間層の住宅街であるが、中間層の生活を支えるうえで重要な役割を果たしているのがボデガと呼ばれる食料雑貨を扱う個人商店である。野菜・果物・鶏肉などの生鮮食料品、食用油、塩、砂糖、小麦粉、牛乳、ヨーグルト、パスタ、缶詰などの調味料・保存食、各種菓子類やアイスクリーム・アイスクャンディー、ミネラルウォーターや炭酸飲料、ビールなどの各種飲料、タバコ、インスタントコーヒー、ティーパック等々の嗜好品、洗剤や石鹸、歯磨き粉、シャンプーなど日用雑貨も揃う。近年ではスーパーマーケットチェーンの進出で売上げは落ちたが、近所で必要量を買って足せる気楽さから需要が確立しており、今回のケースでは付近500m圏内にボデガ7店舗が共存していた。セサルさんは貧困ゆえに幼少時より親元を離れ、十分な教育も受けられず、道端で働かざるを得なかった苦労人だが、道を踏み外さず、まじめに働いてきた自負がある。現在の妻は再婚で8年連れ添っている。なお、前妻の間に生まれた7子はいずれも独立し、交流もあるという。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。